

令和6年度第3回 インターネット都政モニターアンケート

「新型コロナウイルス感染症の後遺症について」

調査結果



調査実施の概要

1 アンケートテーマ

新型コロナウイルス感染症の後遺症について

2 アンケート目的

新型コロナの罹患後症状（いわゆるコロナ後遺症）は、年齢や基礎疾患の有無、コロナ罹患時の重症度等と関係があることも指摘されているが、全てのコロナ罹患者に生じる可能性がある。

後遺症に関する都民の認識や都の取組の認知度を把握し、今後の取組に活かし、更なる理解促進に資することを目的とする。

3 アンケート期間

令和6年8月29日（木曜日）から9月5日（木曜日）まで

4 アンケート方法

インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。

5 インターネット都政モニター数

500人

6 回答者数

493人

7 回答率

98.6%

新型コロナウイルス感染症の後遺症について

1 調査項目

- Q1 コロナ後遺症の認知度
- Q2 周囲でコロナ後遺症に悩んでいる人の有無
- Q3 コロナ後遺症について知っていること
- Q4 コロナ後遺症に関する意識
- Q5 コロナに感染しないと考える理由
- Q6 後遺症について知っておきたいこと
- Q7 コロナ後遺症に悩む方への対応
- Q8 支援しない理由
- Q9 支援のために必要な情報
- Q10 知っている都の情報提供
- Q11 後遺症ポータルサイトの認知度
- Q12 「ポータルサイト」に求めること
- Q13 トップページ印象
- Q14 好感が持てる理由
- Q15 好感が持てない理由
- Q16 後遺症対応医療機関検索の利便性
- Q17 後遺症対応医療機関検索が使いやすい理由
- Q18 後遺症対応医療機関検索が使いにくい理由
- Q19 コロナ後遺症について（自由意見）

		モニター 人数	回 答		
			人数	構成比	率
全 体		500	493	100.0	98.6
性 別	男性	250	246	49.9	98.4
	女性	250	247	50.1	98.8
年 代 別	18・19歳	10	9	1.8	90.0
	20代	70	69	14.0	98.6
	30代	76	75	15.2	98.7
	40代	90	89	18.1	98.9
	50代	87	85	17.2	97.7
	60代	60	60	12.2	100.0
	70歳以上	107	106	21.5	99.1
職 業 別	自営業	34	34	6.9	100.0
	常勤	239	236	47.9	98.7
	パート・アルバイト	47	46	9.3	97.9
	主婦・主夫	76	75	15.2	98.7
	学生	30	28	5.7	93.3
	無職	74	74	15.0	100.0
居住地域別	東京都区部	344	338	68.6	98.3
	東京都市町村部	156	155	31.4	99.4

※ 集計結果は百分率 (%) で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n (number of cases) は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答法・・・(MA) =いくつでも選択、(3MA) =3つまで選択、(2MA) =2つまで選択

新型コロナウイルスに感染後、ほとんどの方は数日から数週間で回復しますが、その後も倦怠感や息切れ、味覚・嗅覚障害といった症状が、長引いたり、新たに現れたりすることがあります。このような、長引いたり新たに現れたりする症状を「罹患後症状（いわゆる後遺症）」と呼んでおり、WHO（世界保健機関）は「新型コロナウイルスに罹患した人にみられ、少なくとも2カ月以上持続し、また、他の疾患による症状として説明がつかないもの」と定義しています。後遺症は年齢や性別、基礎疾患の有無などとの関連も指摘されていますが、新型コロナウイルスに感染したすべての方に起こる可能性があります。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類感染症に位置付けられてから、1年以上が経ちますが、現在でも、後遺症の症状により、仕事や学業といった日常生活に影響が出ている方がおり、中には後遺症について周囲の理解が得られず、苦しんでいる方もいます。

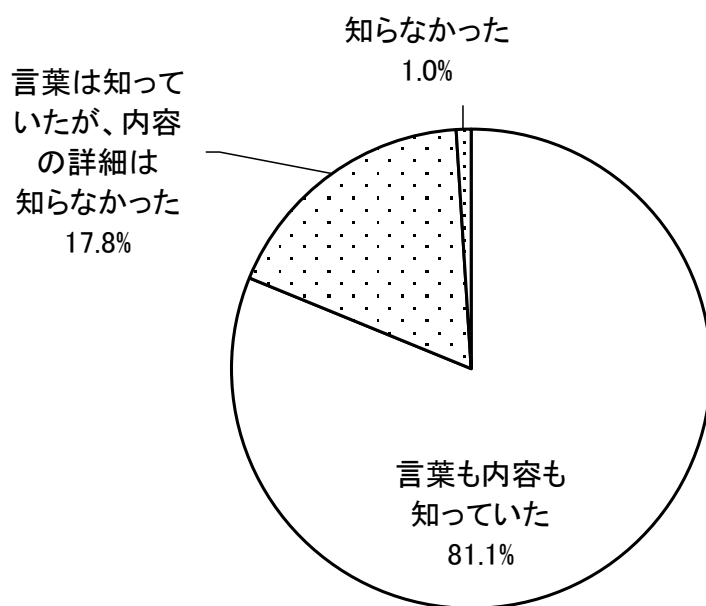
東京都では、これまでもホームページにおける情報発信やリーフレット作成、後遺症対応医療機関の公表等により、後遺症に関する理解促進を図ってきました。さらに理解を進めるために、専用サイト「新型コロナ後遺症ポータル」※を8月より開設しています。今後の施策や更なる情報提供の参考とするため、都政モニターの皆様のご意見をお伺いします。

- ※ このアンケートでは、新型コロナウイルスを「コロナ」、罹患後症状（いわゆる後遺症）を「コロナ後遺症」と記載いたします。
- ※ 新型コロナワクチン接種後の副反応ではなく、コロナ感染後の症状についてのアンケート調査です。
- ※ 新型コロナ後遺症ポータル <https://www.corona-kouisyuu.metro.tokyo.lg.jp/>
- ※ リーフレット等 <https://www.corona-kouisyuu.metro.tokyo.lg.jp/about/leaflet/>

コロナ後遺症の認知度

Q1 コロナから回復しても、症状が長引いたり新たに出現したりすることがある「コロナ後遺症」を知っていましたか。

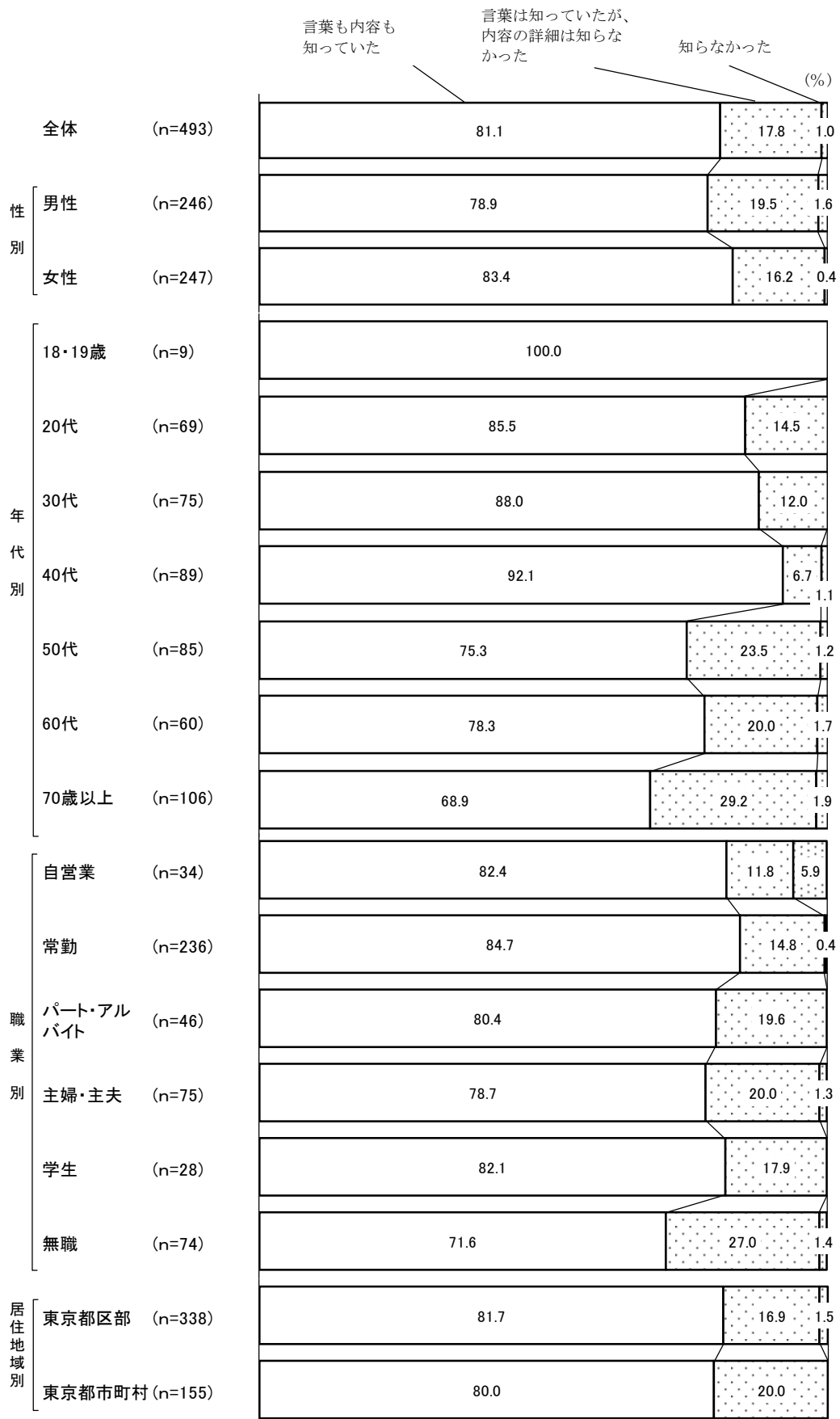
(n=493)



【調査結果の概要】

「コロナ後遺症」について、知っていたか聞いたところ、『知っていた (計)』(98.9%) (「言葉も内容も知っていた」(81.1%)、「言葉は知っていたが、内容の詳細は知らなかった」(17.8%))は、全数近くだった。「知らなかった」(1.0%)は、ほとんどいなかった。

◎コロナ後遺症の認知度（属性別）

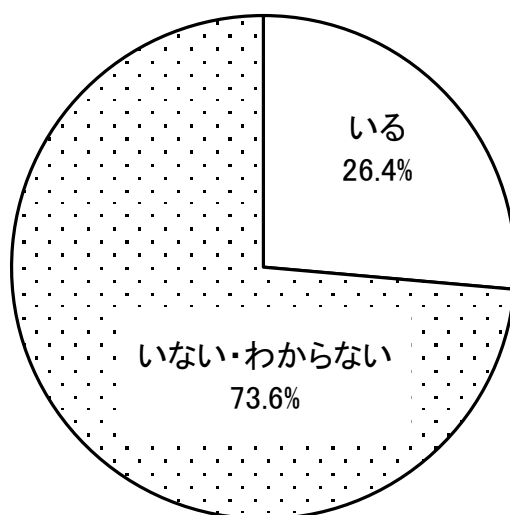


※未回答の選択肢については、0%表示を省略

周囲でコロナ後遺症に悩んでいる人の有無

Q2 ご自身や周囲の方でコロナ後遺症に悩んでいる（悩んでいた）人はいますか。

(n=493)



【調査結果の概要】

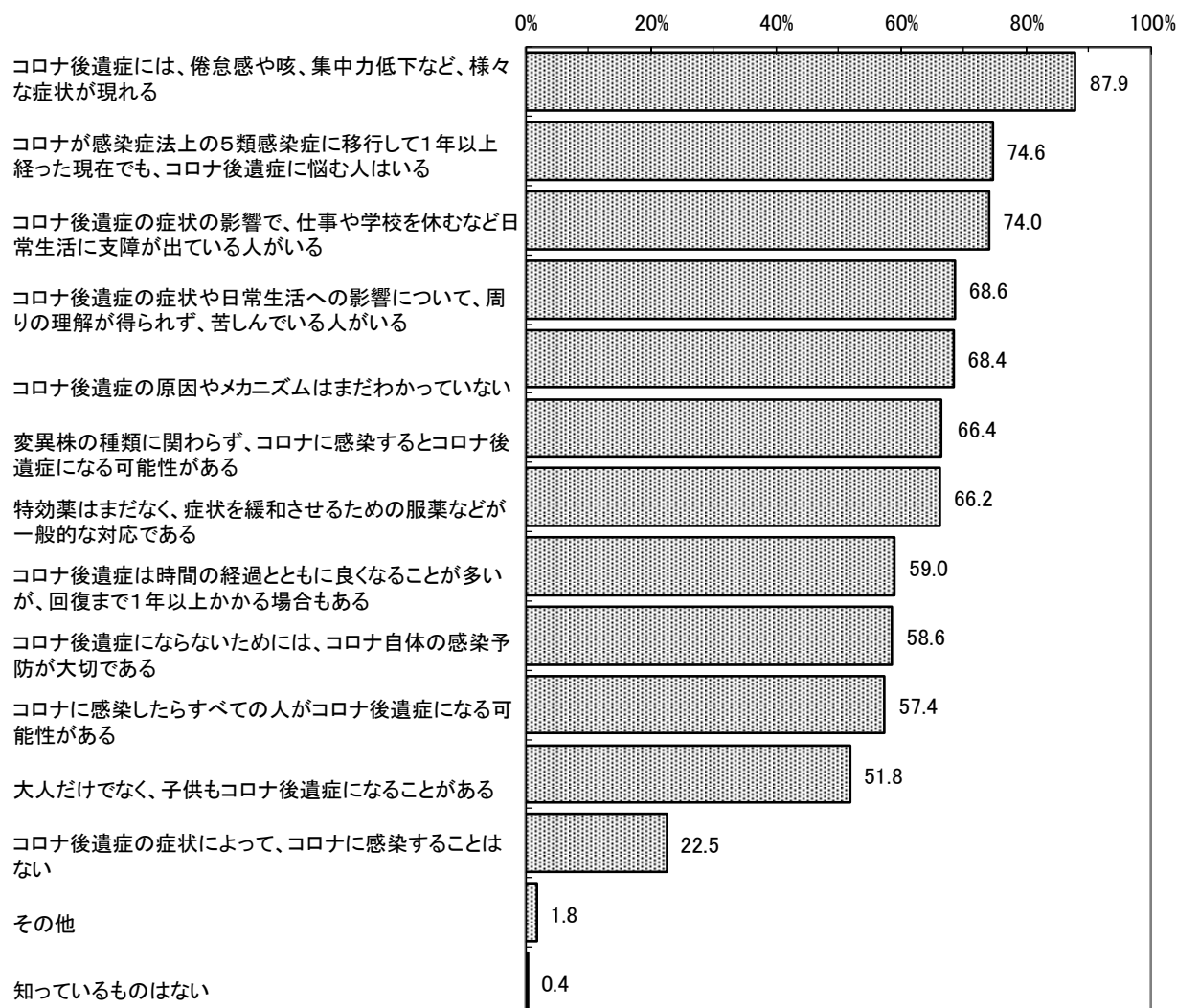
自身や周囲の方でコロナ後遺症に悩んでいる（悩んでいた）人がいるかを聞いたところ、「いる」(26.4%) が2割半ばだった。「いない・わからない」(73.6%) は、7割半ばだった

コロナ後遺症について知っていること

Q3 Q1で「言葉も内容も知っていた」「言葉は知っていたが、内容の詳細は知らなかった」と答えた方に伺います。

コロナ後遺症について、あなたが知っていることは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

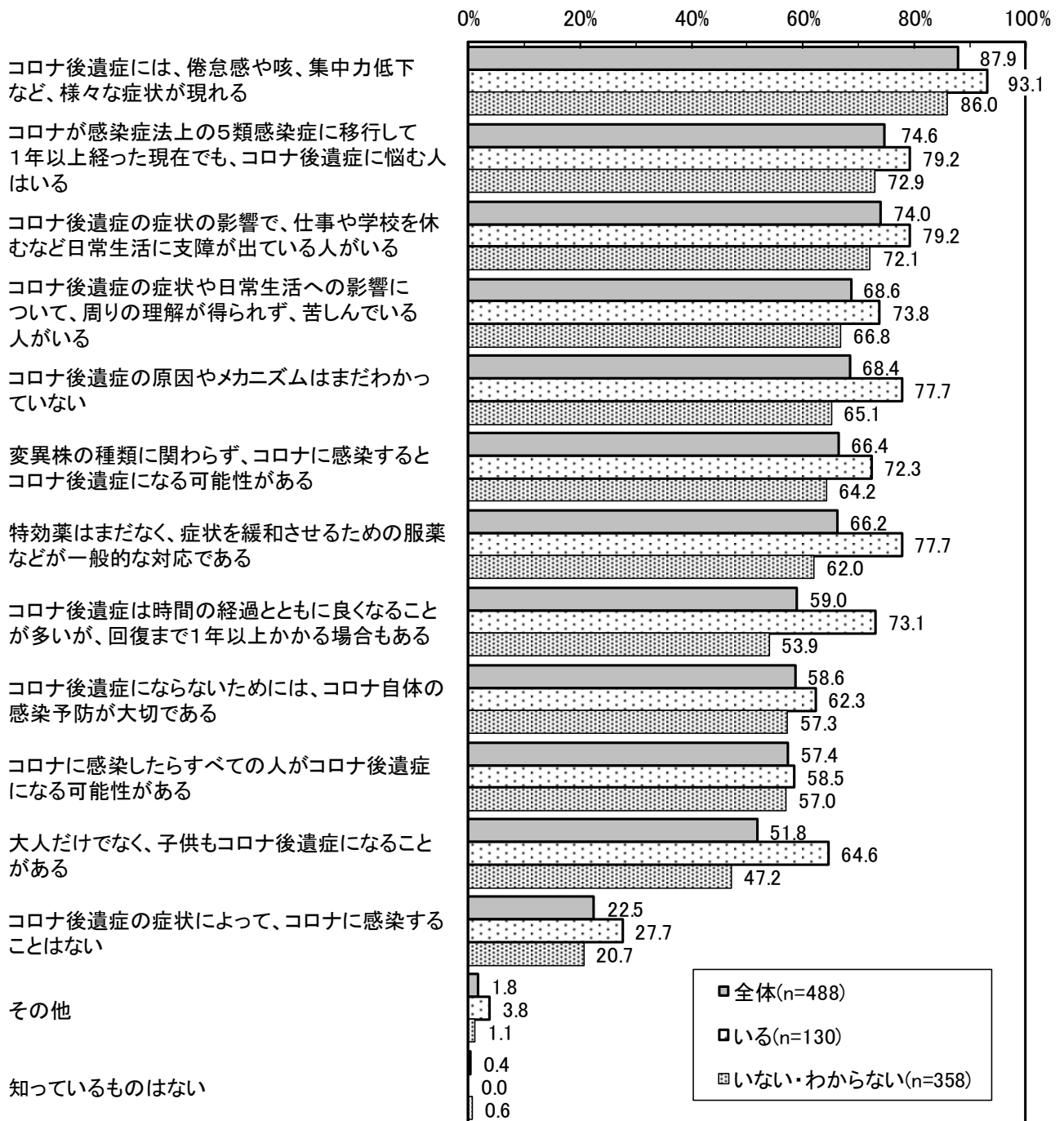
MA (n=488)



【調査結果の概要】

Q1で「言葉も内容も知っていた」「言葉は知っていたが、内容の詳細は知らなかった」と答えた方488人に、コロナ後遺症について、知っていることを聞いたところ、「コロナ後遺症には、倦怠感や咳、集中力低下など、様々な症状が現れる」(87.9%)が9割近くと最も高く、以下、「コロナが感染症法上の5類感染症に移行して1年以上経った現在でも、コロナ後遺症に悩む人はいる」(74.6%)、「コロナ後遺症の症状の影響で、仕事や学校を休むなど日常生活に支障が出ている人がいる」(74.0%)などと続いている。

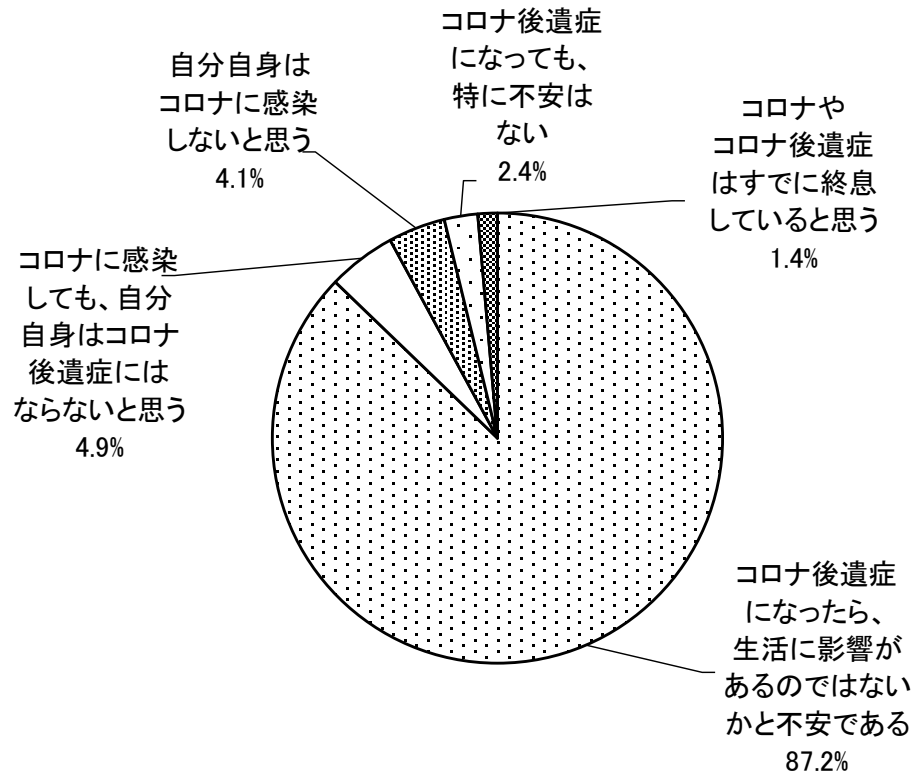
◎コロナ後遺症について知っていること（周囲でコロナ後遺症に悩んでいる人の有無別）



コロナ後遺症に関する意識

Q4 コロナ感染やコロナ後遺症になる可能性について、あなたの気持ちに近いものを選んでください。

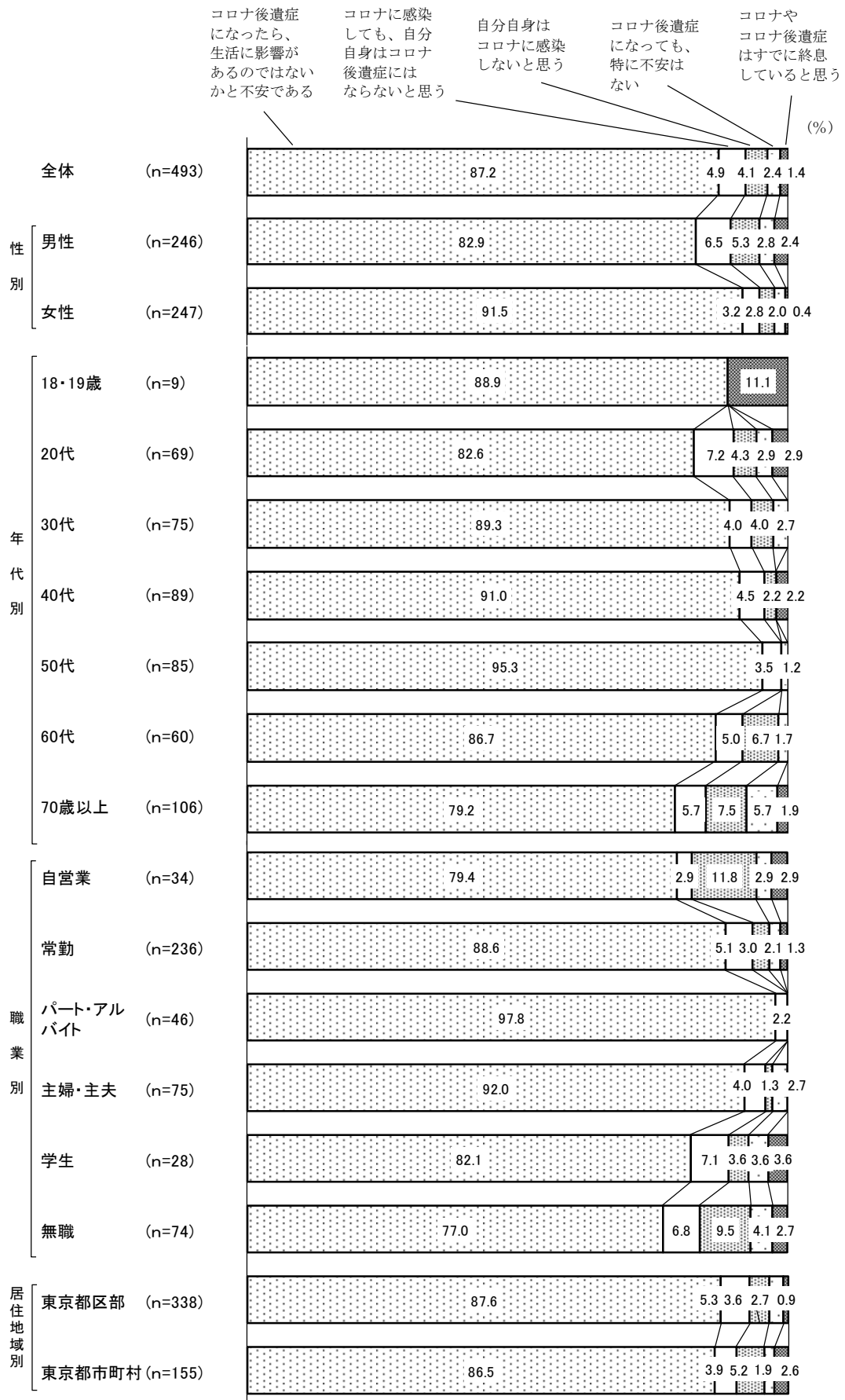
(n=493)



【調査結果の概要】

コロナ感染やコロナ後遺症になる可能性について聞いたところ、「コロナ後遺症になったら、生活に影響があるのではないかと不安である」(87.2%)が9割近くと最も高く、以下、「コロナに感染しても、自分自身はコロナ後遺症にはならないと思う」(4.9%)、「自分自身はコロナに感染しないと思う」(4.1%)などと続いている。

◎コロナ後遺症に関する意識 (属性別)

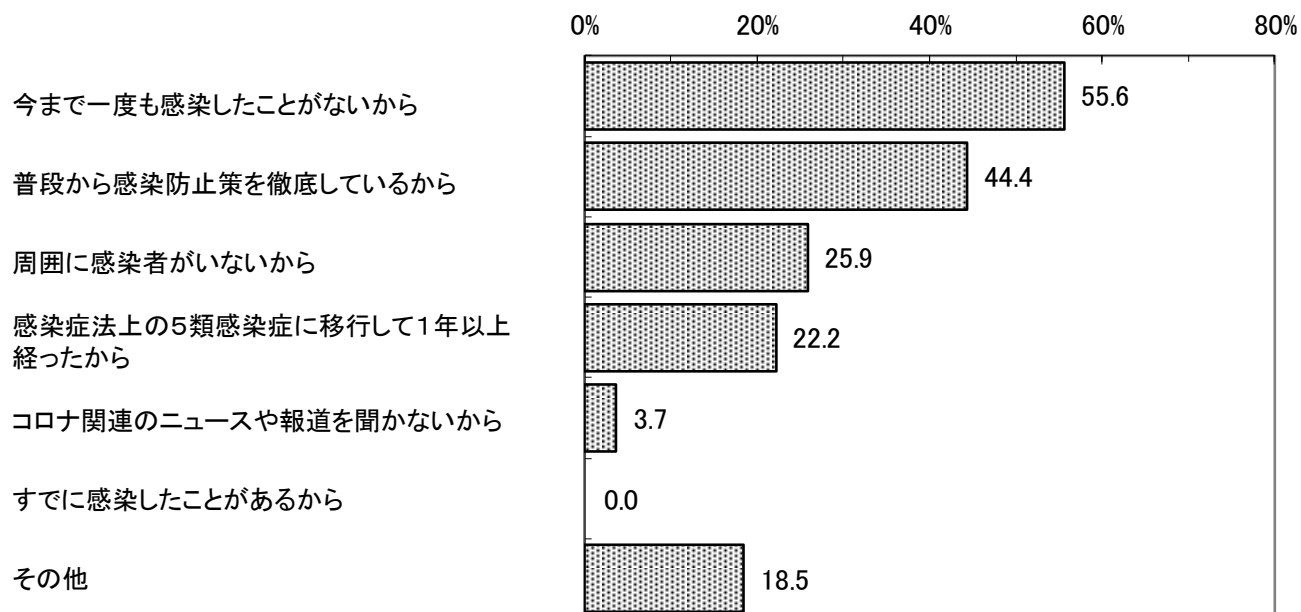


※未回答の選択肢については、0%表示を省略

コロナに感染しないと考える理由

Q5 Q4で「自分自身はコロナに感染しないと思う」「コロナやコロナ後遺症はすでに終息していると思う」と答えた方に伺います。なぜ、そのように考えましたか。あてはまるものを3つまで選んでください。

3MA (n=27)



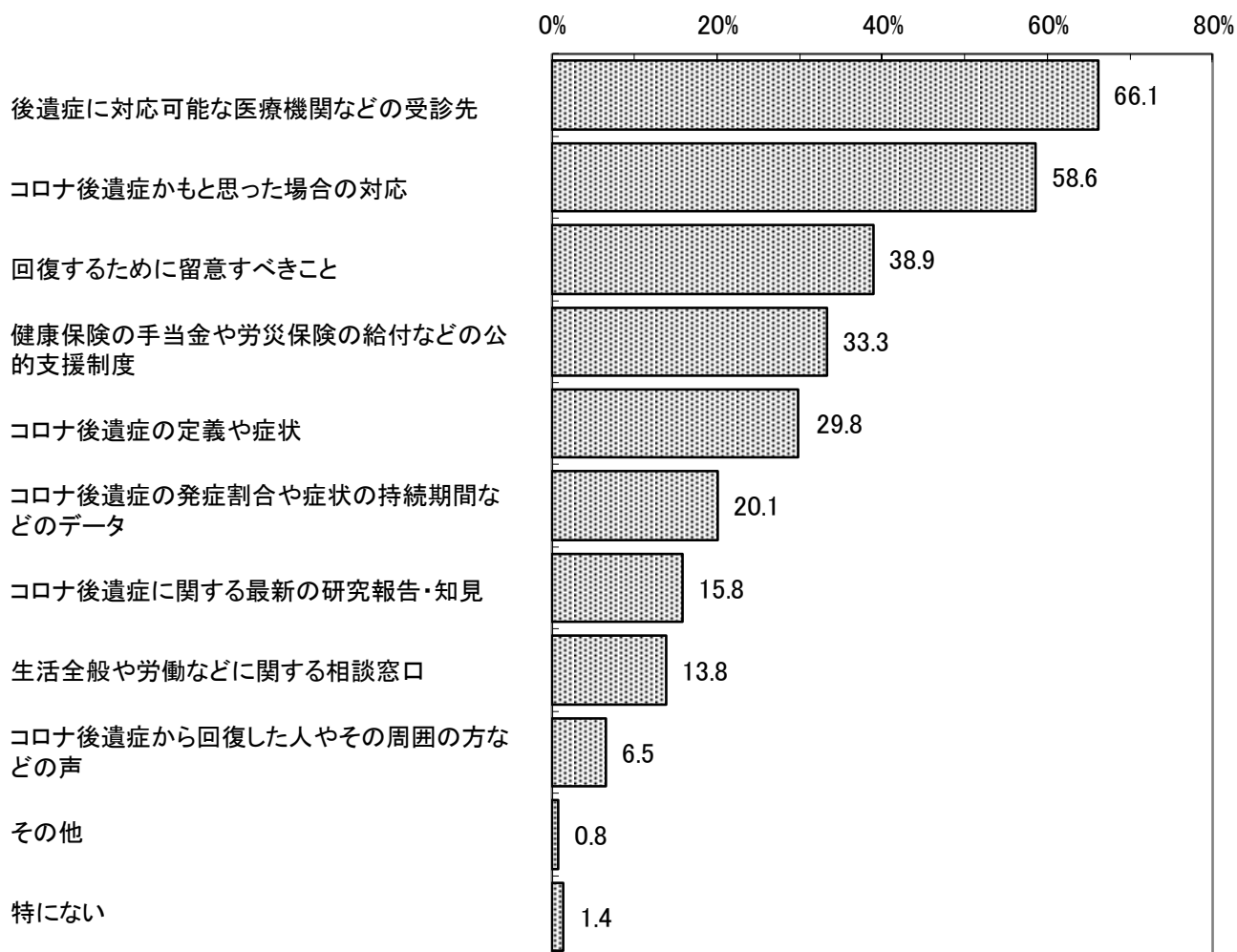
【調査結果の概要】

Q4で「自分自身はコロナに感染しないと思う」「コロナやコロナ後遺症はすでに終息していると思う」と答えた方27人に、なぜそのように考えたか聞いたところ、「今まで一度も感染したことがないから」(55.6%)が5割半ばと最も高く、以下、「普段から感染防止策を徹底しているから」(44.4%)、「周囲に感染者がいないから」(25.9%)、「感染症法上の5類感染症に移行して1年以上経ったから」(22.2%)などと続いている。

後遺症について知っておきたいこと

Q6 自分自身や周囲の人がコロナ後遺症になったり、症状の影響により生活に支障が生じたりした時のために、知っておきたいことは何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

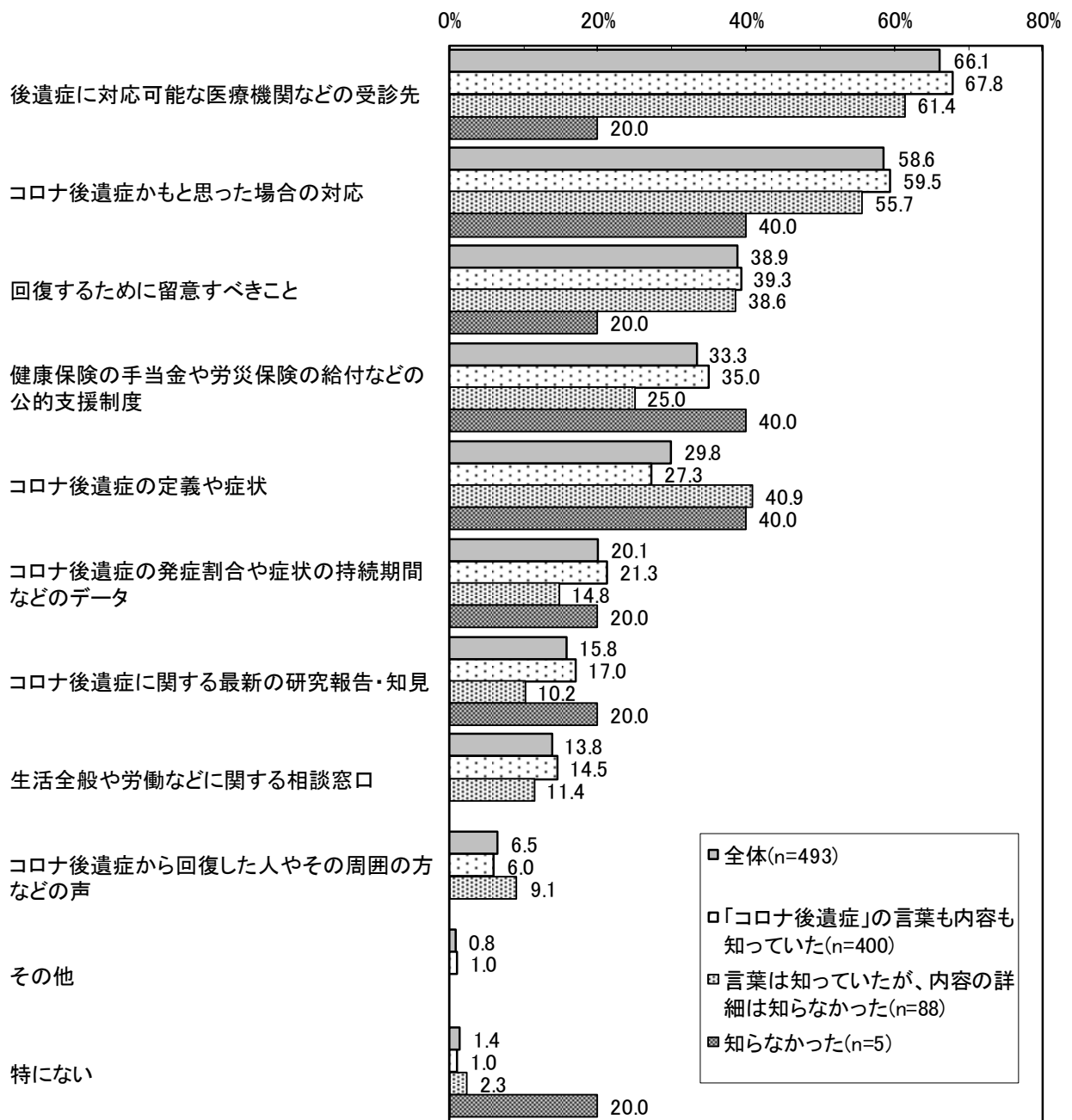
3MA (n=493)



【調査結果の概要】

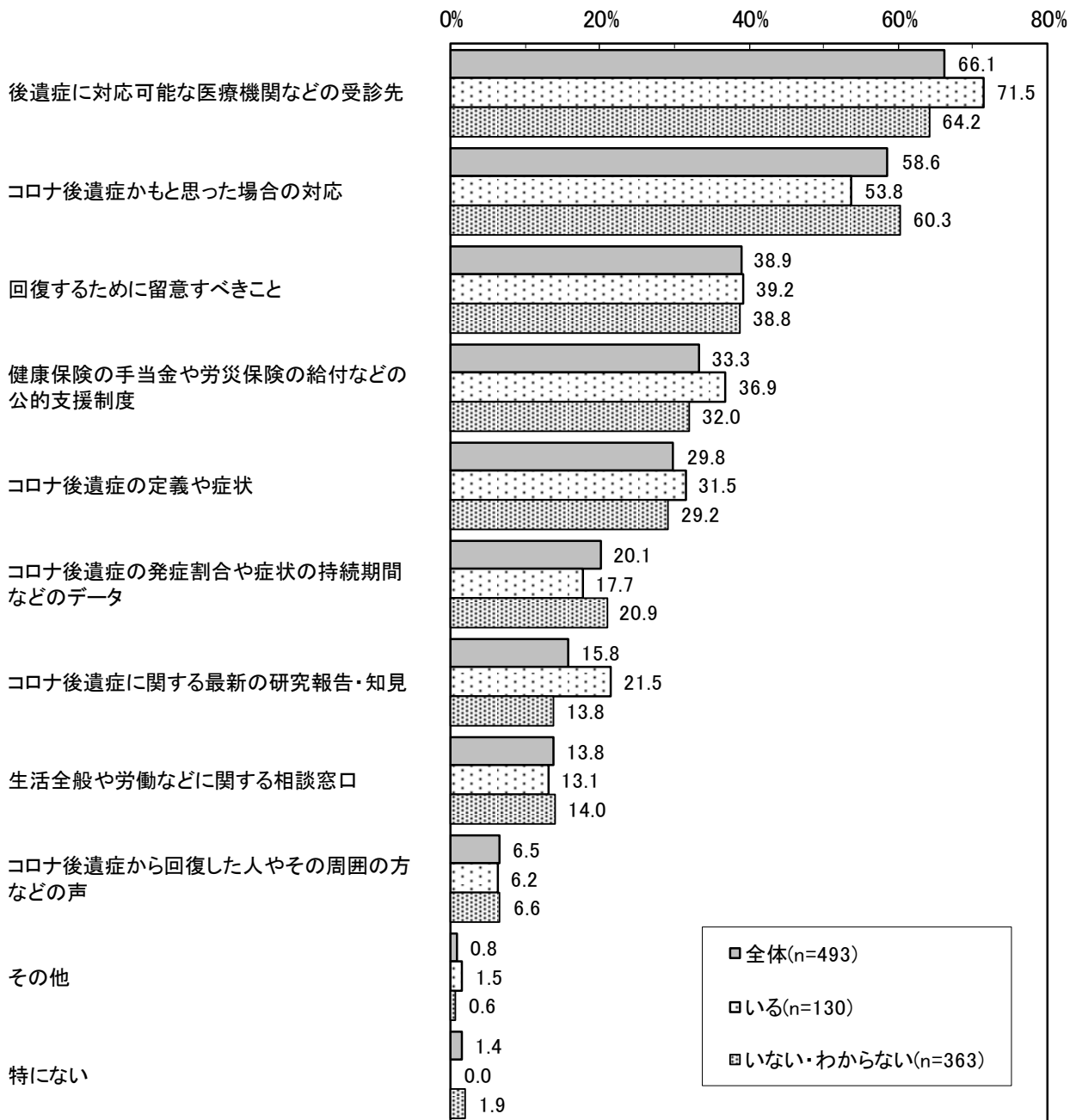
自身や周囲の人がコロナ後遺症になったり、症状の影響により生活に支障が生じたりした時のために、知っておきたいことを聞いたところ、「後遺症に対応可能な医療機関などの受診先」(66.1%)が約6割半ばで最も高く、以下、「コロナ後遺症かもと思った場合の対応」(58.6%)、「回復するために留意すべきこと」(38.9%)、「健康保険の手当金や労災保険の給付などの公的支援制度」(33.3%)などと続いている。

◎後遺症について知っておきたいこと（コロナ後遺症の認知度別）



※未回答の選択肢については、0%表示を省略

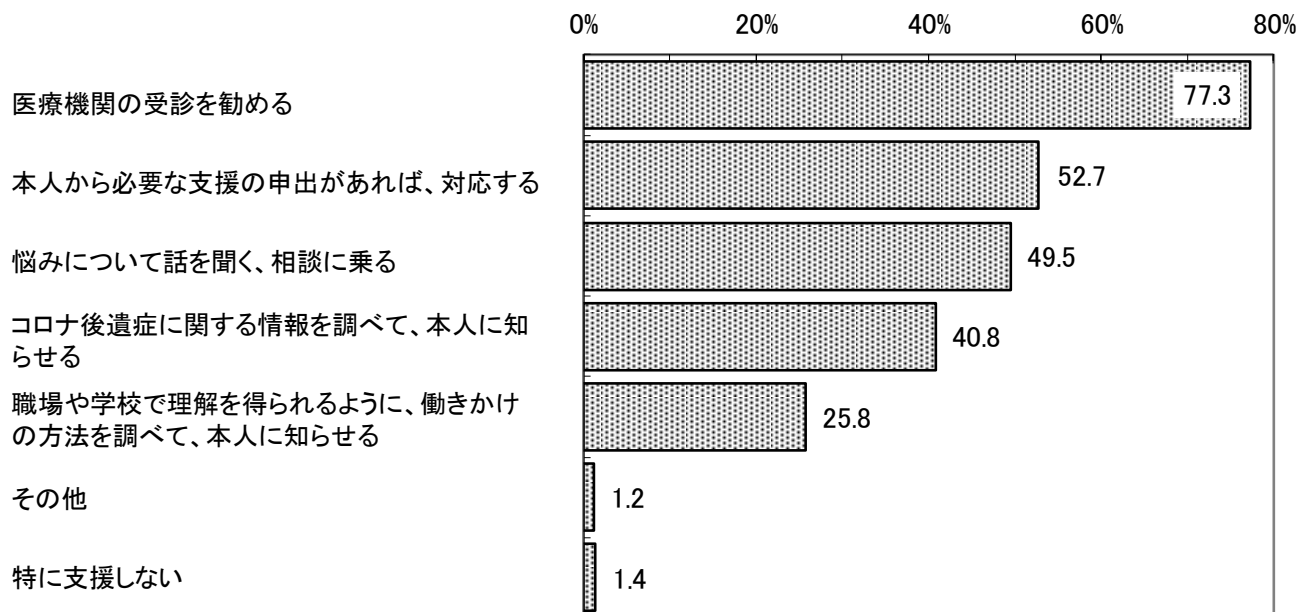
◎後遺症について知っておきたいこと（周囲でコロナ後遺症に悩んでいる人の有無別）



コロナ後遺症に悩む方への対応

Q7 家族や友人、同僚など身近な人にコロナ後遺症の症状や仕事・生活への影響に悩む人がいた場合、あなたはどのように支援しますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

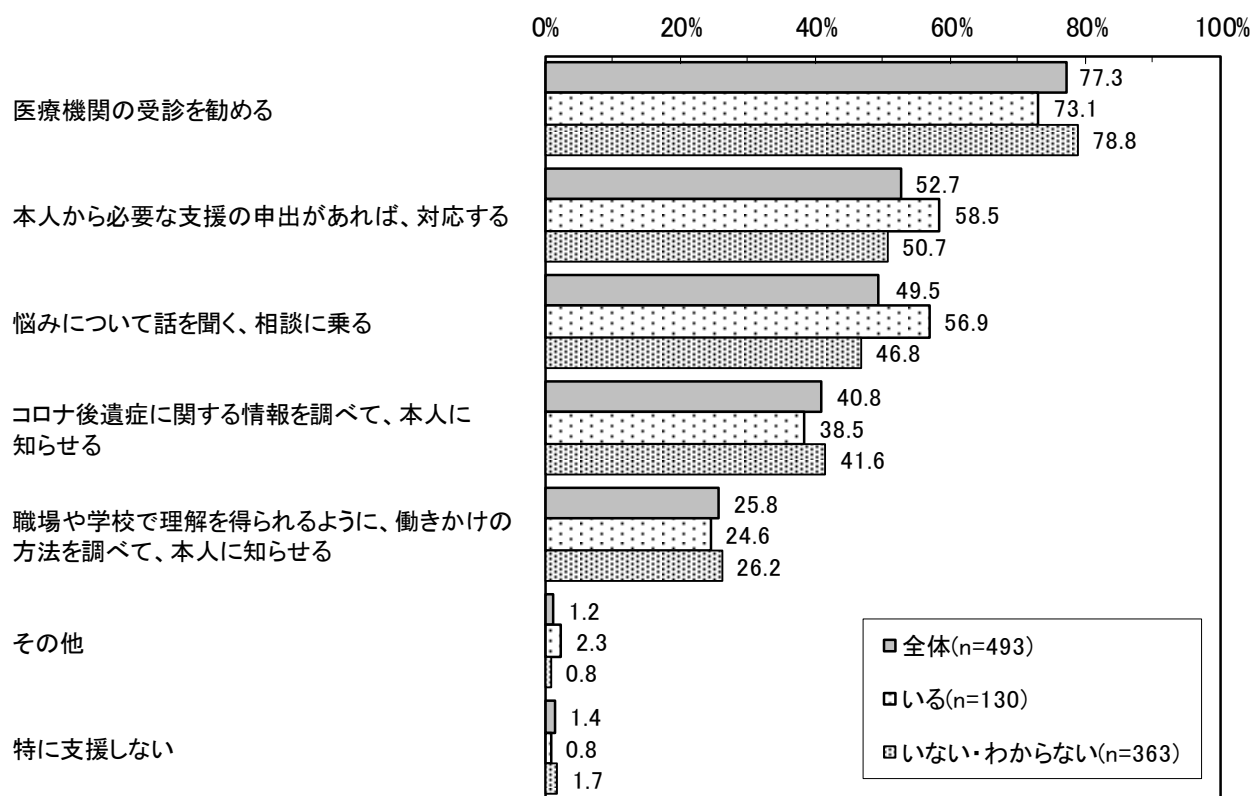
3MA (n=493)



【調査結果の概要】

家族や友人、同僚など身近な人にコロナ後遺症の症状や仕事・生活への影響に悩む人がいた場合、どのように支援するかを聞いたところ、「医療機関の受診を勧める」(77.3%)が8割近くと最も高く、以下、「本人から必要な支援の申出があれば、対応する」(52.7%)、「悩みについて話を聞く、相談に乗る」(49.5%)、「コロナ後遺症に関する情報を調べて、本人に知らせる」(40.8%)、「職場や学校で理解を得られるように、働きかけの方法を調べて、本人に知らせる」(25.8%)などと続いている。

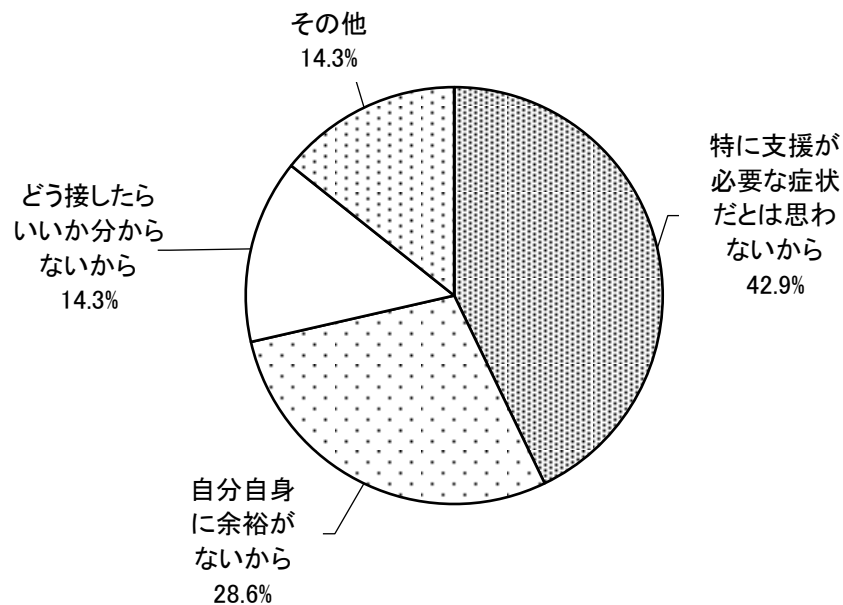
◎コロナ後遺症に悩む方への対応（周囲でコロナ後遺症に悩んでいる人の有無別）



支援しない理由

Q8 Q7で、「特に支援しない」と答えた方に伺います。なぜ、そのように考えましたか。あなたの考えに近いものを選んでください。

(n=7)



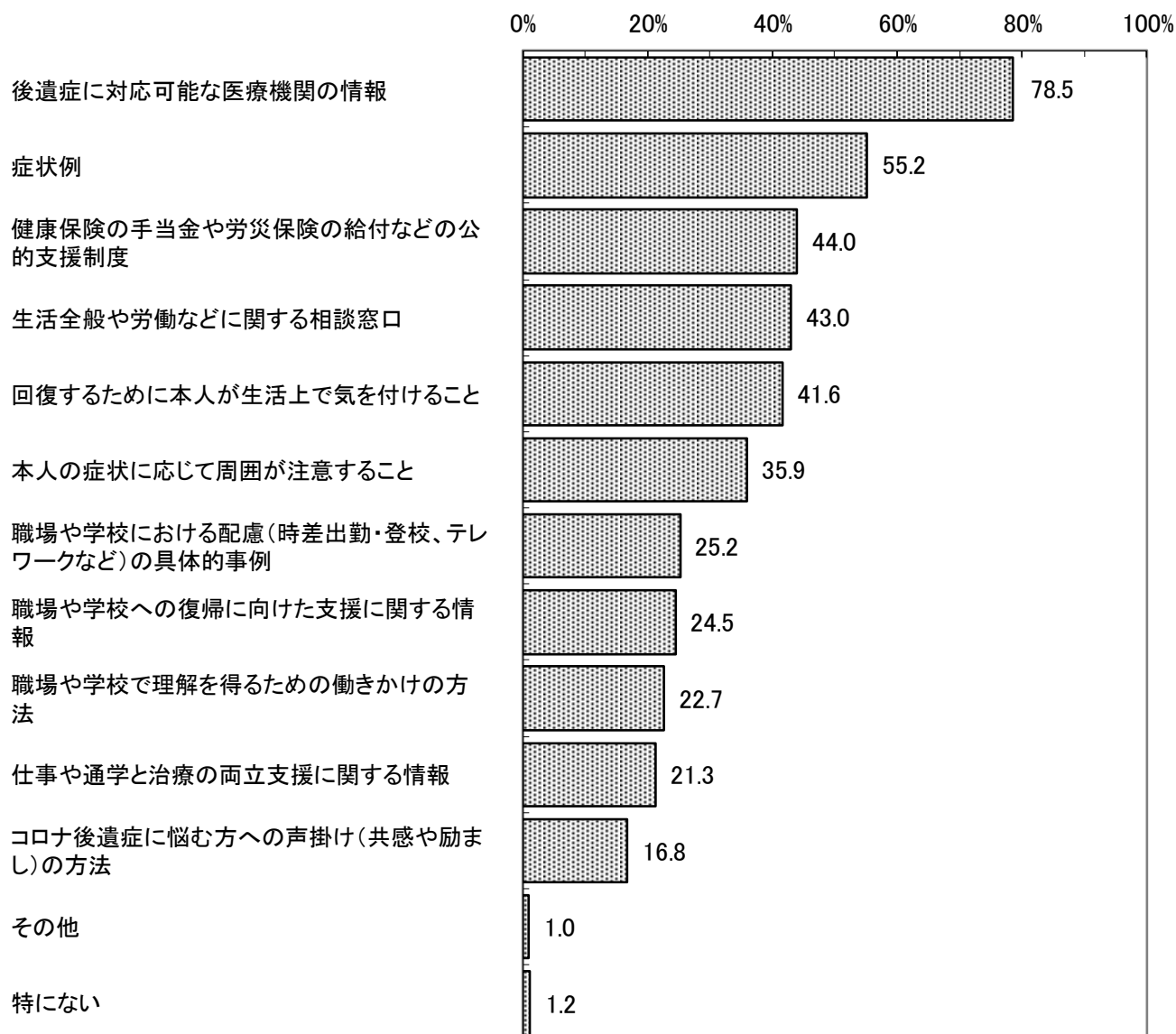
【調査結果の概要】

Q7で、「特に支援しない」と答えた方7人に、なぜ、そのように考えたか聞いたところ、「特に支援が必要な症状だとは思わないから」(42.9%)が4割を超えており、「自分自身に余裕がないから」(28.6%)、「どう接したらいいか分からないから」(14.3%)などと続いている。

支援のために必要な情報

Q9 コロナ後遺症に悩む方の支援をするとしたら、どのような情報があれば対応しやすくなりますか。あてはまるものを5つまで選んでください。

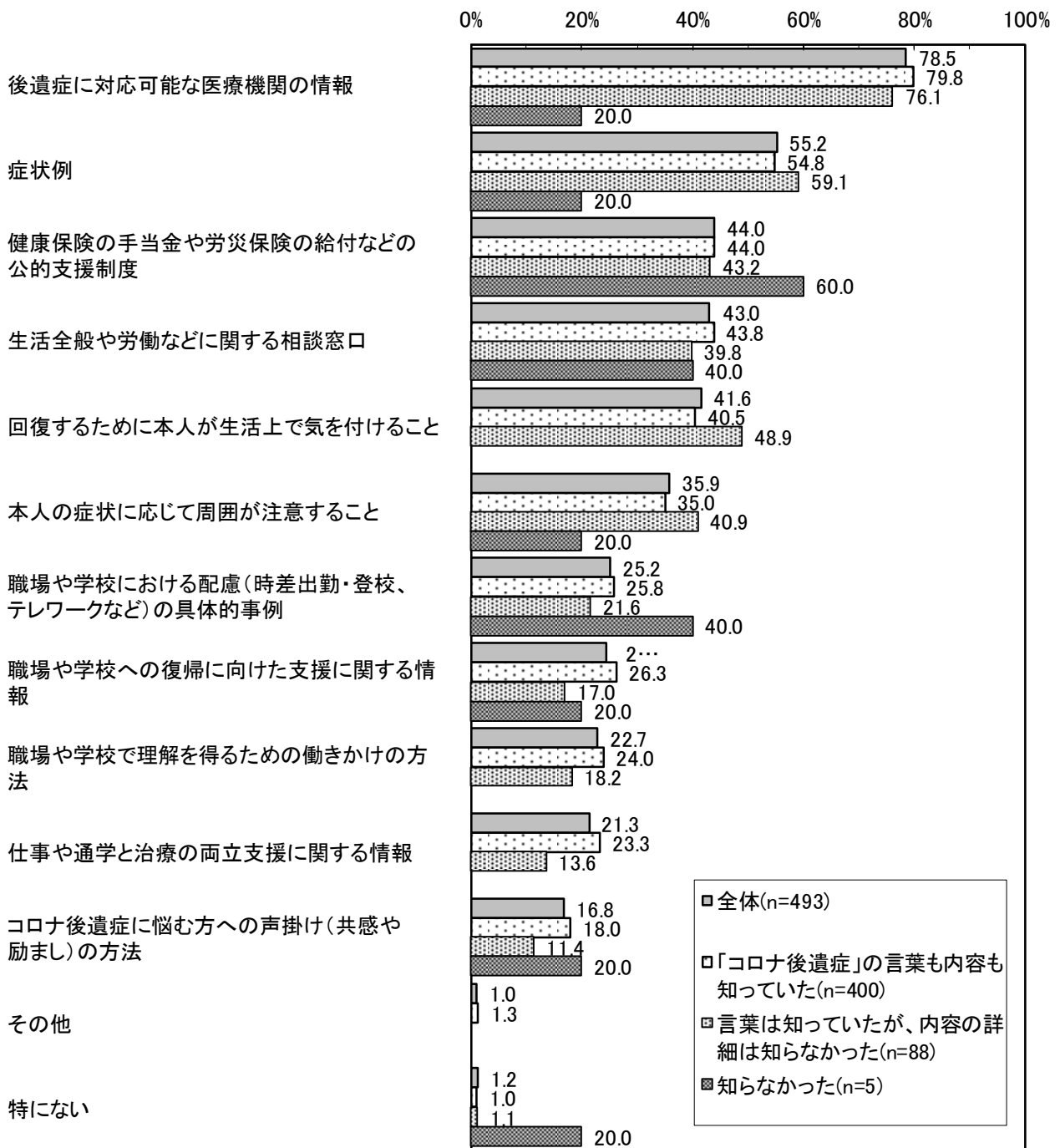
5MA (n=493)



【調査結果の概要】

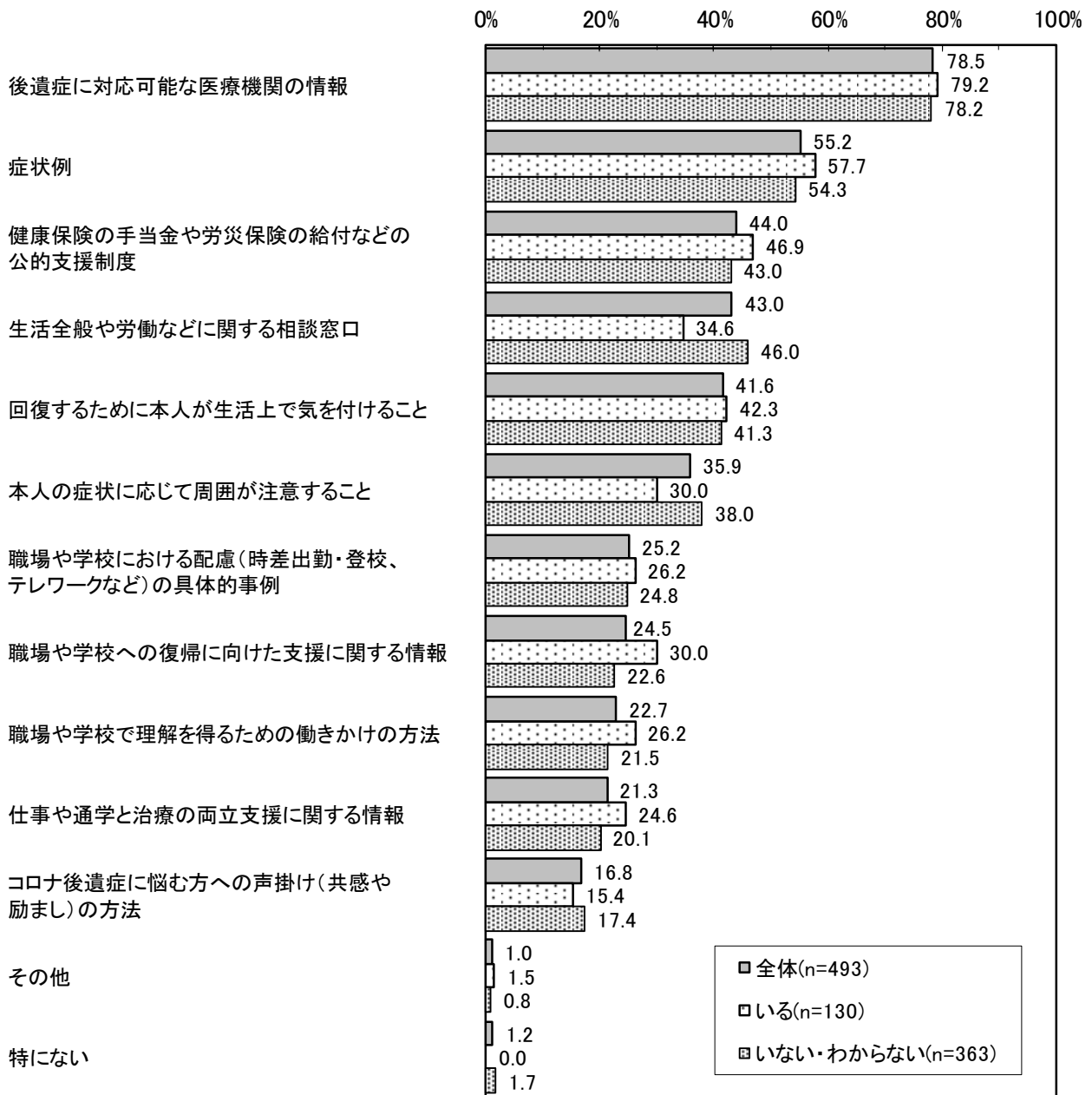
コロナ後遺症に悩む方の支援をする場合に、どのような情報があれば対応しやすいかを聞いたところ、「後遺症に対応可能な医療機関の情報」(78.5%)が8割近くと最も高く、以下、「症状例」(55.2%)、「健康保険の手当金や労災保険の給付などの公的支援制度」(44.0%)、「生活全般や労働などに関する相談窓口」(43.0%)、「回復するために本人が生活上で気を付けること」(41.6%)などと続いている。

◎支援のために必要な情報（コロナ後遺症の認知度別）



※未回答の選択肢については、0%表示を省略

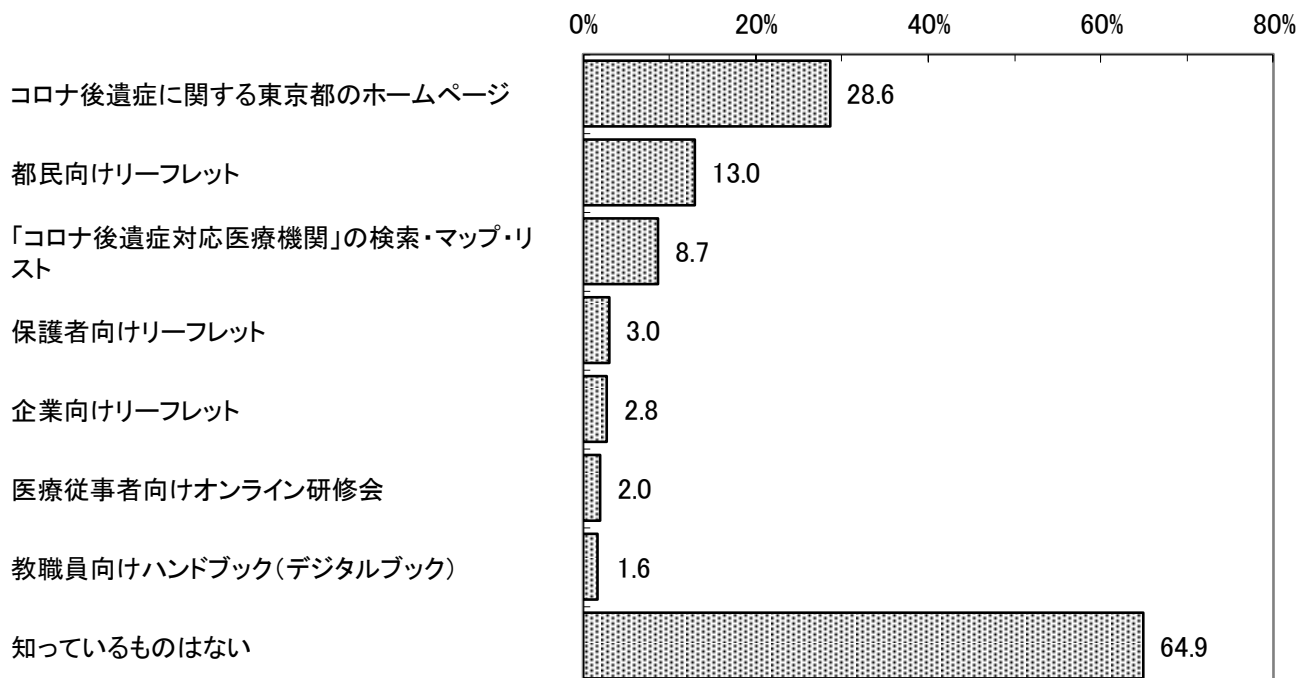
◎支援のために必要な情報（周囲でコロナ後遺症に悩んでいる人の有無別）



知っている都の情報提供

Q10 東京都はコロナ後遺症に関する様々な情報提供を行っております。次の中であなたが知っているものは何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

MA (n=493)



【調査結果の概要】

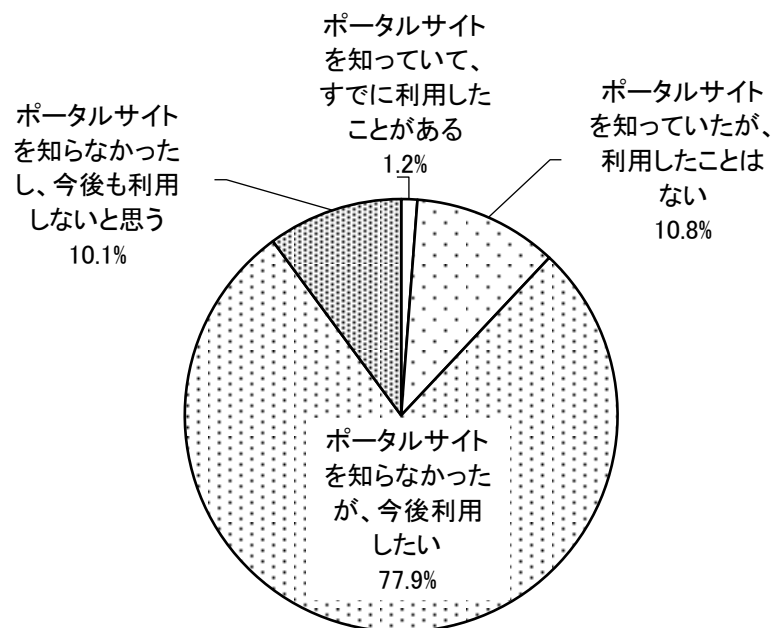
東京都が行っているコロナ後遺症の情報提供について、知っているものを聞いたところ、「コロナ後遺症に関する東京都のホームページ」(28.6%)が3割近く、以下、「都民向けリーフレット」(13.0%)、「コロナ後遺症対応医療機関」の検索・マップ・リスト」(8.7%)などと続いている。

「知っているものはない」(64.9%)は、6割半ばだった。

後遺症ポータルサイトの認知度

Q11 東京都では、「新型コロナ後遺症ポータル」を令和6年8月13日に公開しました。「新型コロナ後遺症ポータル」とは、コロナ後遺症の定義やデータ、後遺症対応医療機関や生活全般や労働などに関する相談窓口、医療従事者向けの情報など、コロナ後遺症に関する情報をまとめて掲載しているポータルサイトです。このポータルサイトを知っていましたか。

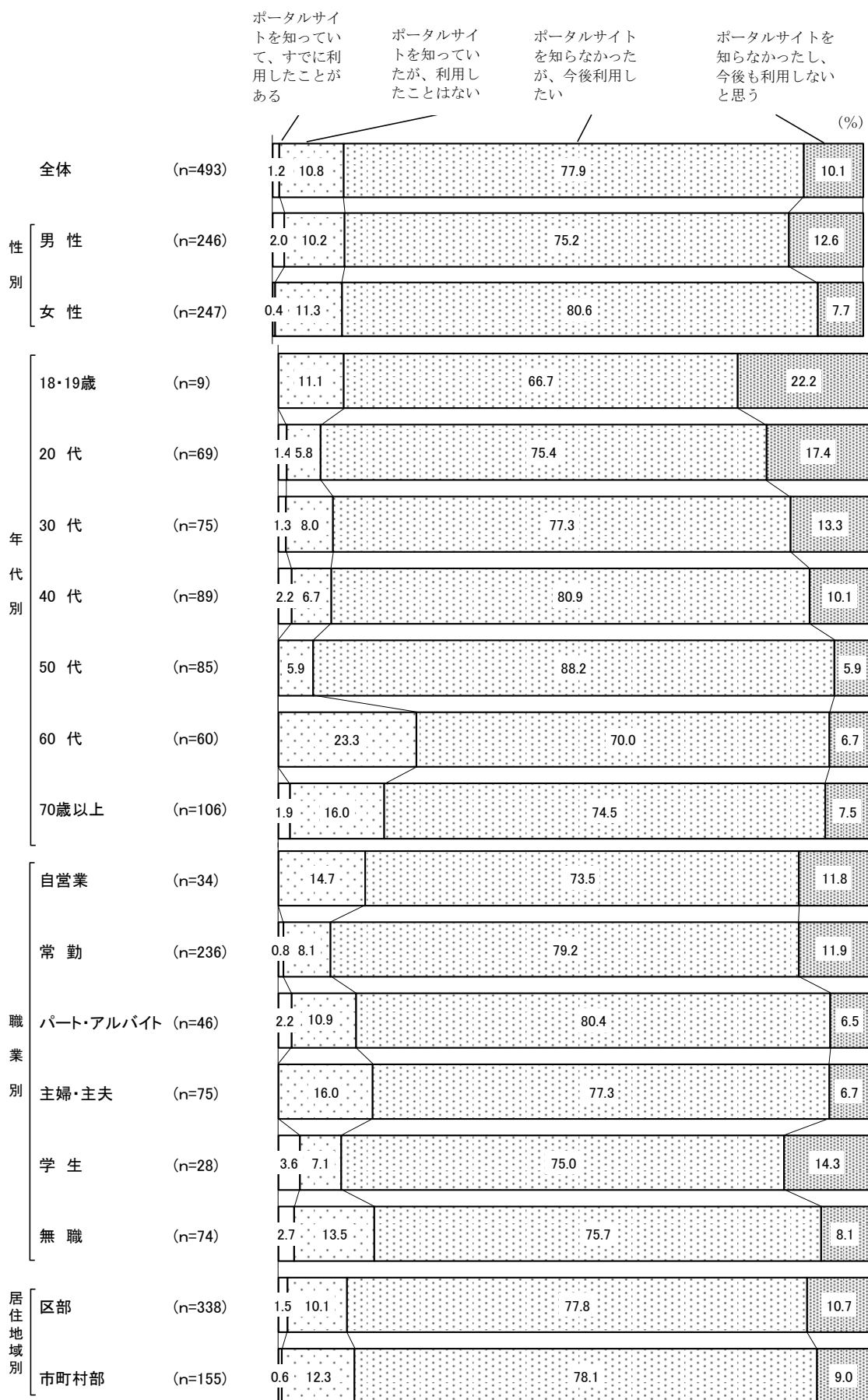
(n=493)



【調査結果の概要】

「新型コロナ後遺症ポータル」について知っていたかを聞いたところ、『知っていた (計)』(12.0%) (「ポータルサイトを知っていて、すでに利用したことがある」(1.2%)、「ポータルサイトを知っていたが、利用したことはない」(10.8%)) が約1割だった。『知らなかった (計)』(88.0%) (「ポータルサイトを知らなかったが、今後利用したい」(77.9%)、「ポータルサイトを知らなかったし、今後も利用しないと思う」(10.1%)) は、9割近くだった。

◎後遺症ポータルサイトの認知度（属性別）

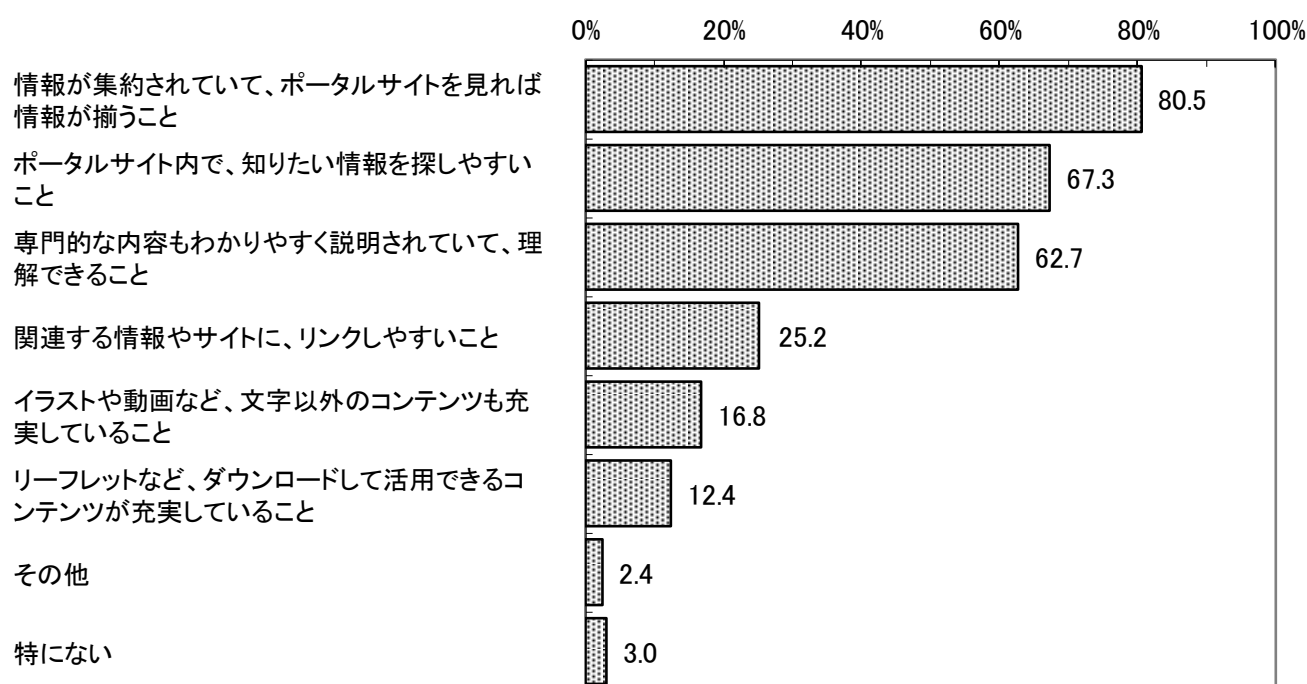


※未回答の選択肢については、0%表示を省略

「ポータルサイト」に求めること

Q12 ポータルサイトの機能として求めることは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=493)



【調査結果の概要】

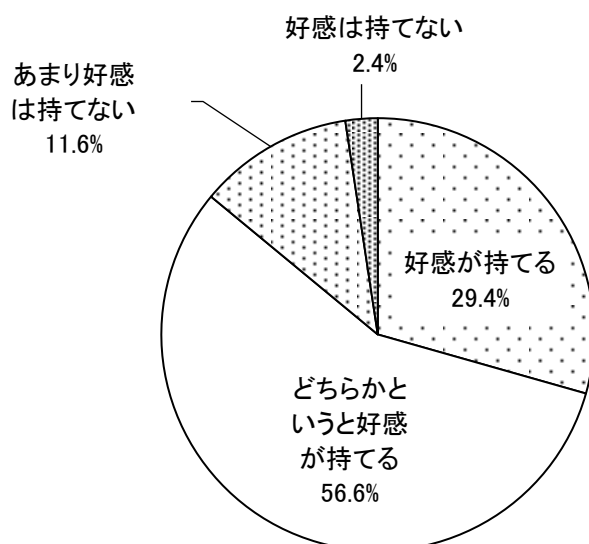
ポータルサイトの機能として求めることを聞いたところ、「情報が集約されていて、ポータルサイトを見れば情報が揃うこと」(80.5%)が8割を超えて最も高く、以下、「ポータルサイト内で、知りたい情報を探しやすいこと」(67.3%)、「専門的な内容もわかりやすく説明されていて、理解できること」(62.7%)などと続いている。

トップページの印象

Q13 「新型コロナ後遺症ポータル」の以下の画像をご覧ください。トップページの印象について、どのように思いましたか。



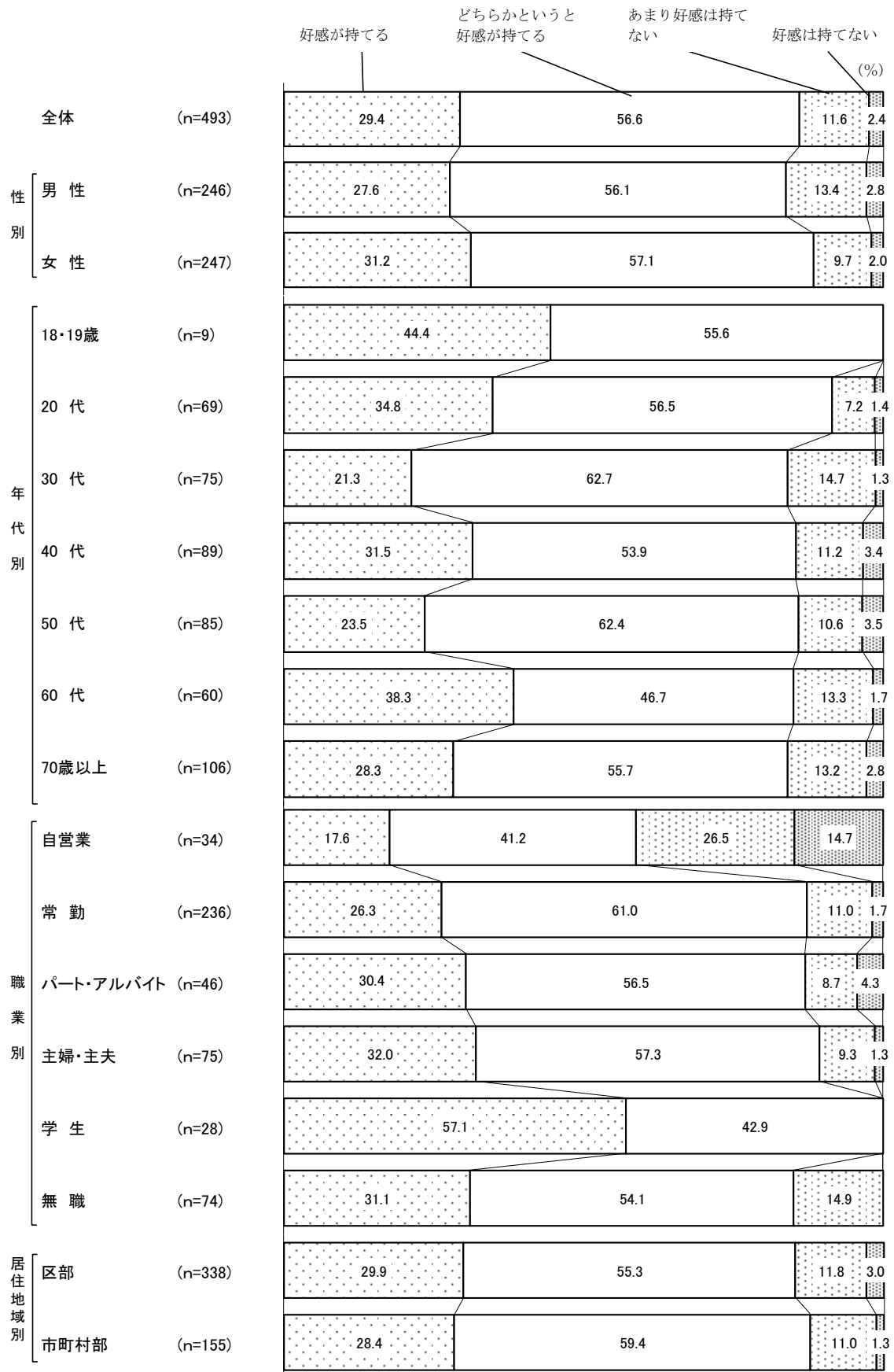
(n=493)



【調査結果の概要】

「新型コロナ後遺症ポータル」のトップページの印象について聞いたところ、『好感が持てる(計)』(86.0%) (「好感が持てる」(29.4%)、「どちらかという好感が持てる」(56.6%)) が8割半ばだった。『好感は持てない(計)』(14.0%) (「あまり好感は持てない」(11.6%)、「好感は持てない」(2.4%)) は、1割半ばだった。

◎トップページの印象 (属性別)

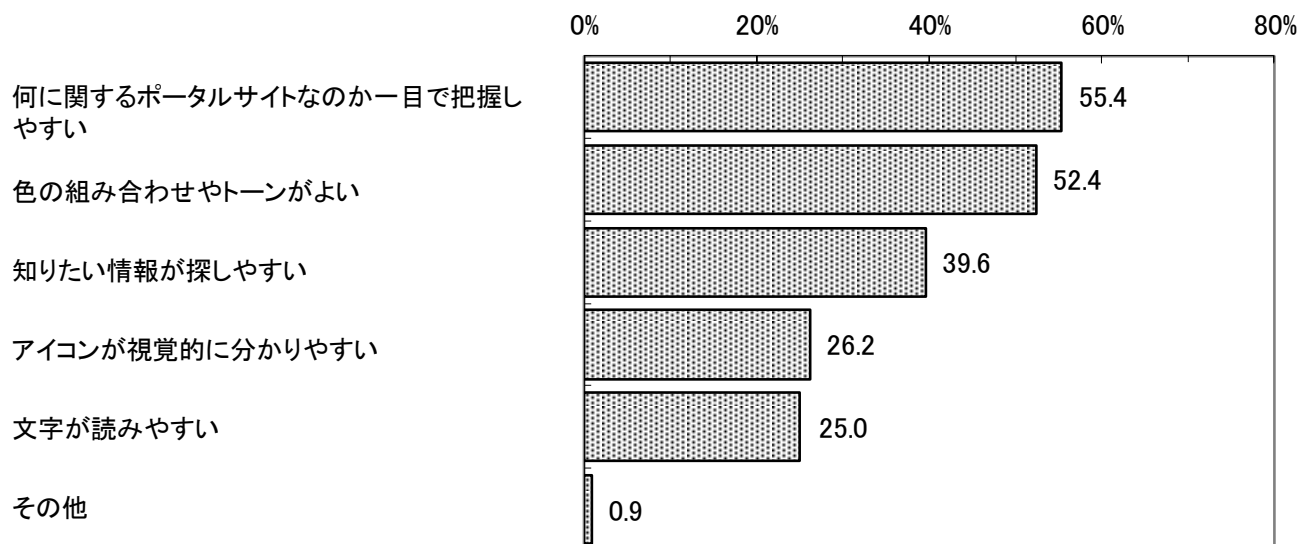


※未回答の選択肢については、0%表示を省略

好感が持てる理由

Q14 Q13で「好感が持てる」「どちらかという好感が持てる」と答えた方にお聞きします。
その理由を次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=424)



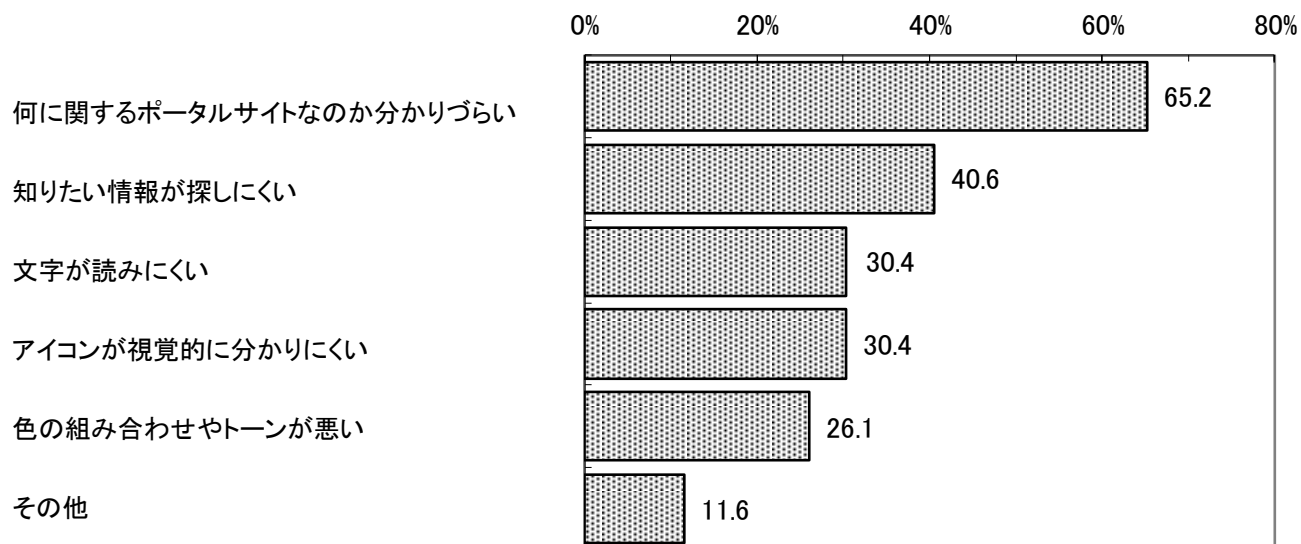
【調査結果の概要】

Q13で「好感が持てる」「どちらかという好感が持てる」と答えた方424人にその理由を聞いたところ、「何に関するポータルサイトなのか一目で把握しやすい」(55.4%)が5割半ばと最も高く、「色の組み合わせやトーンがよい」(52.4%)、「知りたい情報が探しやすい」(39.6%)などと続いている。

好感が持てない理由

Q15 Q13で「好感は持てない」「どちらかという好感は持てない」と答えた方にお聞きします。その理由を次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=69)



【調査結果の概要】

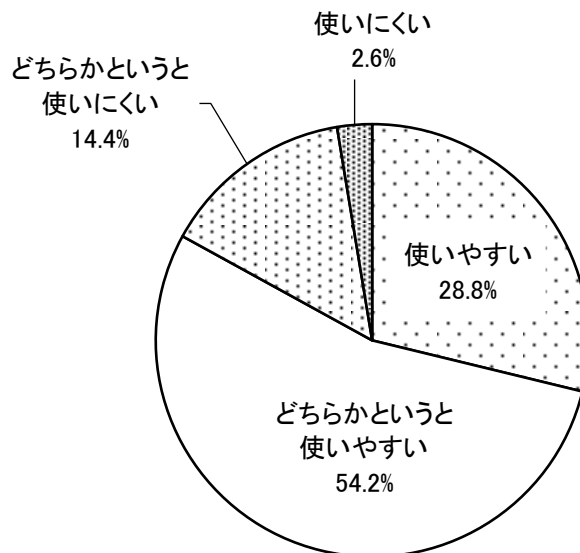
Q13で「好感は持てない」「どちらかという好感は持てない」と答えた方69人にその理由を聞いたところ、「何に関するポータルサイトなのか分かりづらい」(65.2%)が6割半ばと最も高く、「知りたい情報が探しにくい」(40.6%)、「文字が読みにくい」(30.4%)、「アイコンが視覚的に分かりにくい」(30.4%)などと続いている。

後遺症対応医療機関検索の利便性

Q16 「新型コロナ後遺症ポータル」では、ご自身の症状や受診を希望する区市町村などを組み合わせて、後遺症診療に対応している医療機関を検索することができます。

実際に検索を試していただき、利便性について、どのように思いましたか。

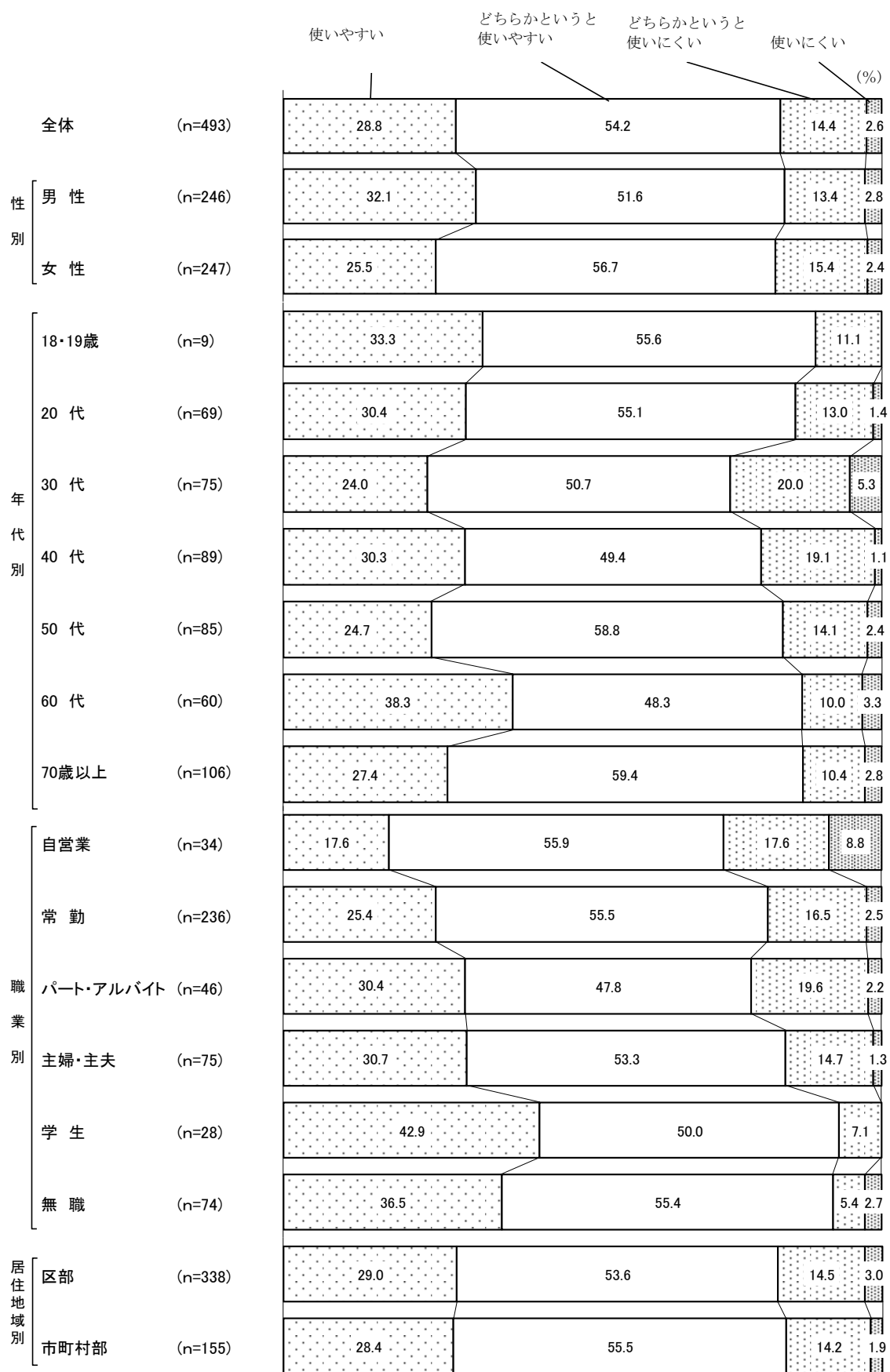
(n=493)



【調査結果の概要】

「新型コロナ後遺症ポータル」の医療機関検索の利便性について聞いたところ、『使いやすい(計)』(83.0%) (『使いやすい』(28.8%)、『どちらかという使いやすい』(54.2%)) が8割を超えた。『使いにくい(計)』(17.0%) (『どちらかという使いにくい』(14.4%)、『使いにくい』(2.6%)) は、2割近くだった。

◎後遺症対応医療機関検索の利便性（属性別）

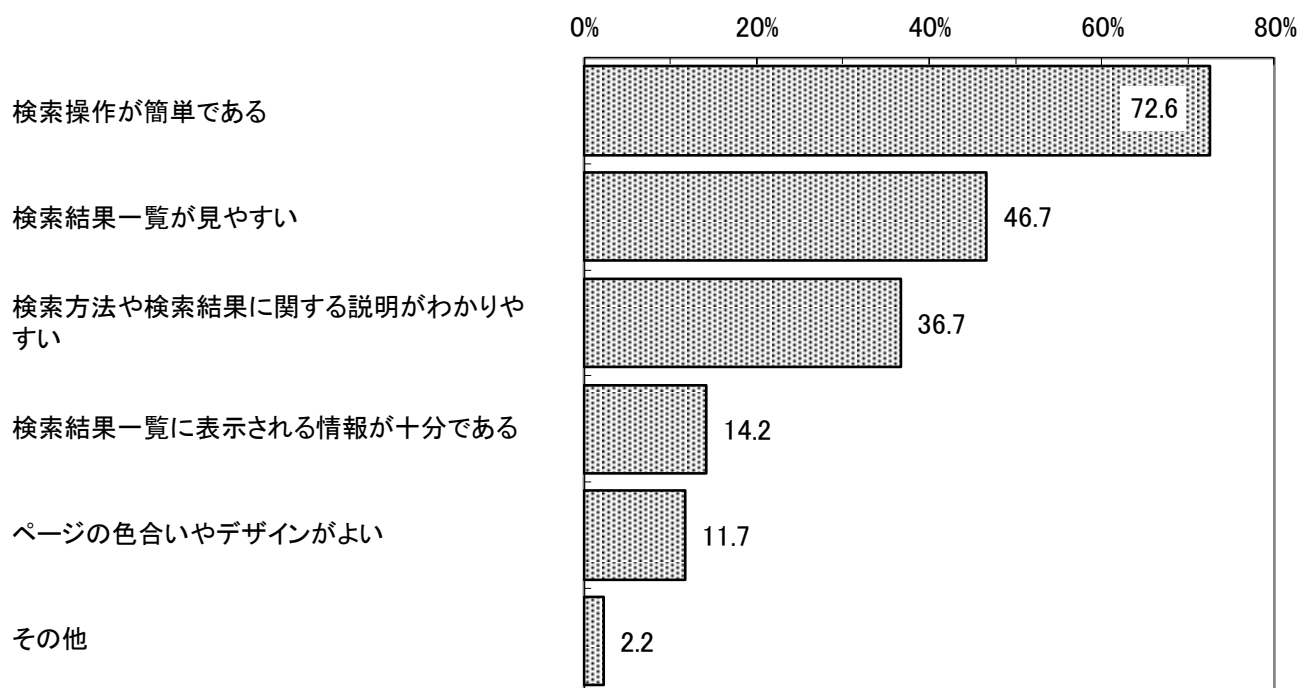


※未回答の選択肢については、0%表示を省略

後遺症対応医療機関検索が使いやすい理由

Q17 Q16で「使いやすい」「どちらかという使いやすい」と答えた方にお聞きします。その理由を次の中から いくつでも選んでください。

MA (n=409)



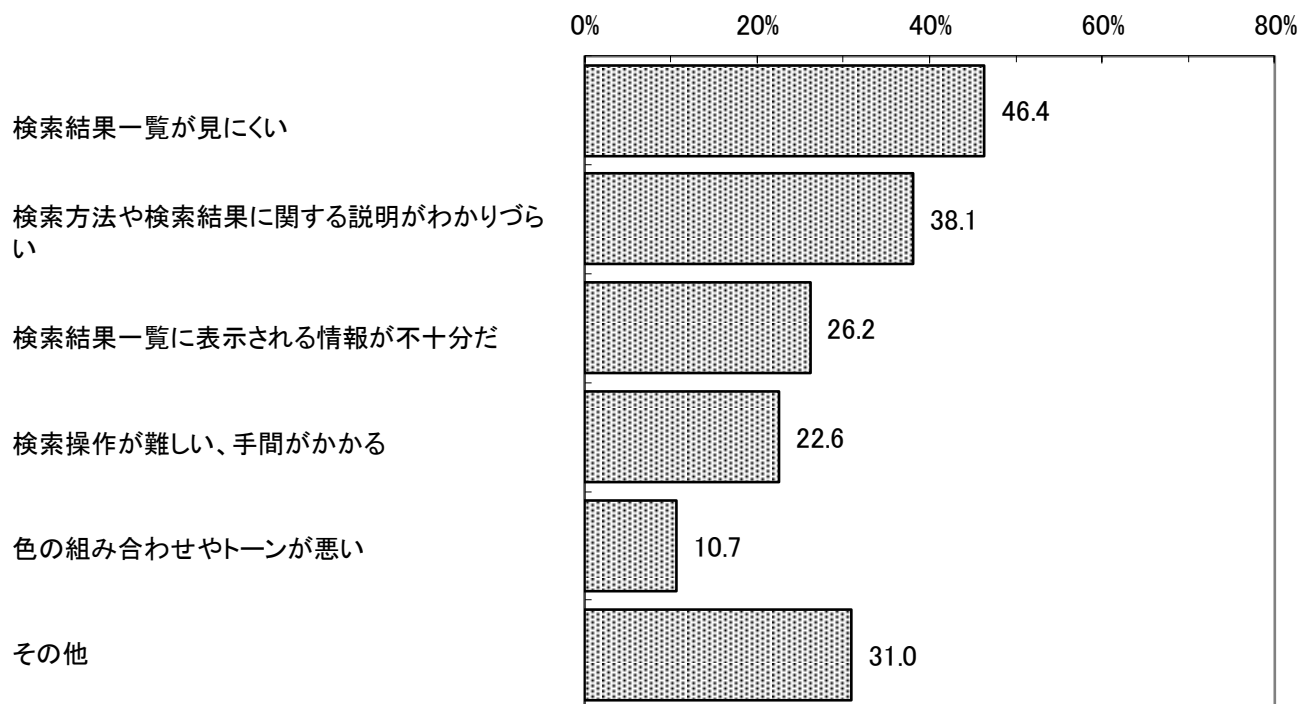
【調査結果の概要】

Q16で「使いやすい」「どちらかという使いやすい」と答えた方409人にその理由を聞いたところ、「検索操作が簡単である」(72.6%)が7割を超えて最も高く、以下、「検索結果一覧が見やすい」(46.7%)、「検索方法や検索結果に関する説明がわかりやすい」(36.7%)などと続いている。

後遺症対応医療機関検索が使いにくい理由

Q18 Q16で「使いにくい」「どちらかというとなりにくい」と答えた方にお聞きします。その理由を次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=84)



【調査結果の概要】

Q16で「使いにくい」「どちらかというとなりにくい」と答えた方84人にその理由を聞いたところ、「検索結果一覧が見にくい」(46.4%)が4割半ばで最も高く、以下、「検索方法や検索結果に関する説明がわかりづらい」(38.1%)、「検索結果一覧に表示される情報が不十分だ」(26.2%)、「検索操作が難しい、手間がかかる」(22.6%)などと続いている。

コロナ後遺症について（自由意見）

Q19 東京都が行うコロナ後遺症対策や情報発信に望むことをご自由にお書きください。

(n=456)

- | | |
|-------------------|------|
| (1) 周知、啓発に関すること | 142件 |
| (2) コロナ後遺症への理解 | 98件 |
| (3) ポータルサイトに求めること | 93件 |
| (4) 都の取組について | 70件 |
| (5) コロナ後遺症への支援 | 53件 |

（主なご意見）

(1)周知、啓発に関すること 142件

- 後遺症の具体的事例や、どういう症状の場合に病院にかかるべきか、分かりやすい情報発信があるといいと思います。
(女性 20代 大田区)
- コロナ後遺症について理解が深まり、苦しんでいる人に必要な情報が届くといいなと思った。
(女性 40代 目黒区)
- インターネット環境下でない、または操作ができない高齢者への情報公開や窓口の案内が必要だと思われる。自分や身近な人が後遺症に無関係であると、情報も入らず関心を持つ機会がないので、もっと情報公開をして欲しい。後遺症に悩む人の症状、推移などが知りたい。
(女性 40代 板橋区)
- 誤った情報も多く出回っているので正しい情報が誰でもわかりやすく入手できる状態であって欲しいです。
(女性 40代 調布市)
- 自分自身が二回コロナに罹患し、倦怠感や記憶力の低下などがありコロナ後遺症かもしれないと悩んでいたのが、今回のアンケートで都の様々な情報発信を知ることができてとても助かりました。これらの情報に高齢者の方やWebに疎い方でもすぐにたどり着けるような発信方法があれば、きっと救われる方も増えるのではと思いました。
(男性 50代 新宿区)
- ネット環境が揃っていない人もいますので、コロナ罹患者やその後遺症の方向けのパンフレットを作り、医療機関や区役所などで配布するのがわかりやすいと思います。環境に配慮したペーパーレスも大切ですが、いざという時、ネットだけに頼るのは危険だと考えます。
(女性 50代 大田区)

- 後遺症と気づかないまま悩んでいる人もいるかもしれないので、コロナ後遺症に関わる情報発信をテレビやSNSも使って視覚的に行って欲しい。ホームページは後遺症の自覚がある人しか見に行かない。

(女性 50代 世田谷区)

- インターネットとかを使用出来ない人もいらっしゃると思うので、東京都の広報などに、わかりやすくのせていただけたらとおもいます。

(女性 70歳以上 西東京市)

(2) コロナ後遺症への理解 98件

- 新聞で、勤め先の上司の後遺症に関する理解が進んでいなかったために職場を辞めることになった方のインタビューを読みました。このようなことにならないよう、都には企業の経営者や学校の教職員など上の立場の人向けに、後遺症に関する情報発信をさらにお願ひしたいです。

(女性 10代 八王子市)

- コロナ後遺症の認知を高める必要があると思う。周りの配慮によって当事者の精神的負担を減らすことが出来ると思うのでそのような働きかけをしてほしい。

(女性 20代 台東区)

- コロナはもう過去のものになってしまった印象が世の中にはあると思うので、現在進行形で苦しんでいる人がいることやこれから新たに罹患する可能性があることを、過度に不安を与えない程度に発信していくことが大切だと思った。

(男性 20代 杉並区)

- 私自身、コロナに感染しておらず、後遺症どころかコロナそのものの辛い症状を身をもって経験していません。そのため、後遺症に悩んでいない人も感染そのものを経験したことない人にも理解しやすく、共有しやすい内容の情報であれば、興味をもったり、意欲的に感染症対策をする人が増えるのではないかと思います。

(女性 30代 新宿区)

- 後遺症による休職について、職場の理解が得られるか心配です。休職へのハードルを軽減できるよう情報提供をお願いしたいです。

(女性 30代 文京区)

- 後遺症に悩む人への支援策と情報発信に加え、職場（事業主）の理解を深める情報発信が必要だと考えます。また、ポータルサイトのトップ画面には「後遺症に悩む人への支援策」のようなアイコンがなかったため、支援策の充実や情報発信が必要だと考えます。さらに、後遺症ではないかと思ったときに判断するためのチェックリストや、フローチャートなどがあると分かりやすいのではないかと考えます。このほか、コロナ後遺症はあまり知見が集積されていないと思うので、医療機関等と連携して東京都が積極的に知見の収集に取り組み、正確な情報を発信していただきたいと考えます。

(男性 30代 立川市)

- 人によって後遺症の症状が様々なのもっと周りに理解してもらえる様な情報をまめに発信していただけると助かります。

(女性 50代 西多摩郡)

(3) ポータルサイトに求めること 93件

- 自分自身このアンケートに回答するまでコロナ後遺症専門サイトがあることを知らなかったです。とても簡略化されていて誰にでも見やすいサイトだったので周知活動に力を入れて頂きたいです。

(男性 20代 大田区)

- コロナ後遺症があること自体は知っていても、そうなった場合にどうすればいいのかが分からない人が多いと思うので、定期的に、関連する情報発信をしていただきたい。またホームページでまとまったコロナ後遺症関連の情報を検索できるのはありがたい。

(女性 30代 杉並区)

- ポータルサイト、すっきりしていて分かりやすくてよいと思います。ただ、私もこのアンケートをやるまでは知らなかったなので、周知に力を入れてほしいです。また、実際に後遺症に罹患しながら仕事や生活をしている方の声、工夫などをもっと広めていただきたいです。

(男性 40代 小金井市)

- 高齢者が読みやすいよう、文字を大きく、イラストなども添えながら分かりやすい言葉で情報を掲載するのが良いと思います。

(男性 50代 台東区)

- 東京都ホームページに、コロナ後遺症のページがあるということすら知りませんでした。体調不良がコロナ後遺症によるものかどうか見極めるのは難しいと思います。病院が登録されていますが、今はその治療はやっていないなど、病院情報の更新も頻繁に行ってほしいと思います。

(女性 60代 世田谷区)

- 便利なサイトが開設されたことを初めて知りました。心強く思っております。

(女性 70歳以上 品川区)

- コロナ後遺症に悩む方々にとって、少しでも明るい気持ち、前向きな気持ちになれるよう、都のポータルサイトを見れば、常に最新情報が得られるという安心、信頼できるものにしてほしいと思います。企業、学校向けにも情報提供を充分してほしいと思います。

(女性 70歳以上 板橋区)

(4) 都の取組について 70件

- 情報へのリーチしやすさと、学校や職場などのコミュニティにおいて理解が促進されるような取組を希望します。

(男性 30代 新宿区)

- コロナ後遺症についてよくわかりましたし、ポータルサイトも使いやすかったです。もっと周知されるとよいと思いました。また、実際にポータルサイトで医療機関を検索してみて、対応できる病院が1件もない自治体があることに気づきました。都から医師に研修を行うなどして、自治体による格差がうまると、よりよいと思います。

(女性 30代 町田市)

- 仕事や学校にいけない人のための周囲の批判に対する対策を取ってほしい。

(男性 40代 調布市)

- 東京都がこのようにコロナ後遺症についてポータルサイトを作っているとは今回このアンケートで初めて知った。近隣の医療機関を検索できるようになっていて良い取り組みだと思った。ただ、今回初めて知ったくらいなので、行政の取り組みは、市民側が関心を持って自ら調べないと、なかなかたどり着きにくい現状があるところに課題を感じた。

(女性 40代 西多摩郡)

(5) コロナ後遺症への支援について 53件

- 今回のアンケートを通じて、後遺症が長期にわたる可能性があるとわかりました。長期間の通院が必要な場合や、症状が重篤な必要な場合などに限り、診療費の一部補助などがあればうれしいです。

(男性 20代 江東区)

- 後遺症専門のクリニックや医療機関を増やし、患者が迅速に診察を受けられるようにしてほしいです。また、医療機関へのアクセスが難しい地域に住んでいる人々のために、遠隔医療の普及や地域医療の強化も必要だと考えます。

(男性 20代 町田市)

- 対応できる医療機関を増やして欲しい。

(女性 30代 新宿区)